

職場体験感想文コンクール2025

タイトル	花屋さんの職場体験で学んだこと	事務局	527
学校名	新庄市立明倫学園	氏名	設楽 心愛

私は今回の職場体験で、家の近くの花屋さんで三日間働かせてもらいました。お店に行く前は「花屋さんは花を並べて売るだけの仕事」というイメージを持っていました。しかし、実際に体験してみると、そのイメージは大きく変わりました。花屋さんの仕事は思っていたよりもずいぶん多くのことに気がかけて動き、たくさんの方の工夫と努力で成り立っていることが分かりました。

私が体験したことは、お花の水やりや手入れ、葉っぱのとうじなどを体験させていただきました。まずびっくりしたことは、開店前のお花の水やりが自分かと思っていたよりも大変だったことです。お花の水やりはとてもしっかりとしたイメージがありました。だけど暑くて朝早くに水をあげないといけないし、水がとて重かったのどすゝか疲れました。次にびっくりしたことはお花の茎を切る作業です。一回で切る茎の量がとて多くて、とて重たいから、集中力も切れるし、腕もどんどん疲れてきて、大変だなと感じました。

一番心に残ったことは、お客さんに合わせて花束を作る場面です。「どんな場面で渡すのか」「どんな人に渡すのか」「どんな気持ちで伝えたいのか」を考えながら、花束を作っていました。私はこのことを聞いて「花束を作るということは、その人の気持ちを形にする仕事なんだ」と気づきました。重い水を運ぶには力が必要で、体力がないと続けるのは大変と感じました。また、花はちょっとした温度や湿度の変化でも弱ってしまうため、こまめに状態を見えあげないといけないと分かりました。お客さんが来たときには笑顔で対応しながら、店の中の花に気を配る必要があり、大変なことがたくさんありました。でも、花束を作ったときなど、お客さんが笑顔を見せてくれたら、とてもうれしくなり、仕事のやりがいも強く感じられるなと思いました。この職場体験を通して、私も将来「人に喜んでもらえる仕事」をしたいと思うようになりました。まだ夢は決まっていますが、人の気持ちに寄り添って笑顔にできる人になりたいと思いました。